

マクワ・メロンの作り方

(家庭菜園向け)

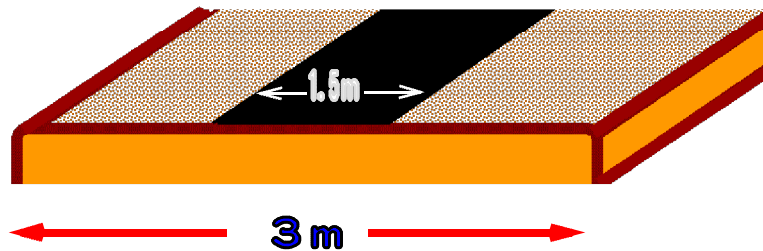
POINT!

マクワやメロンはスイカ以上に日当たりを好み、乾燥気味に栽培する事が良く、多湿を嫌います。つまり降雨による多湿・病害をどう防ぐかがポイントとなります。出来る事ならトンネル栽培にチャレンジしてみてもいいかもしれません。

畑の準備

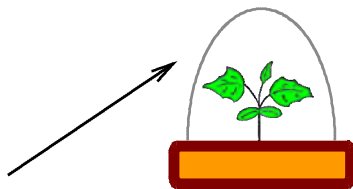
1㎡あたり完熟堆肥と腐葉土を約2kgずつ投入しすき込みます。肥料は畑により加減しますが一般的には化成肥料1㎡あたり100g(8-8-8の場合)程度、骨粉100g、pHの調整が必要な場合は苦土石灰などで酸度の調整をしておきます。

畝幅3m程度の畝を立てます。地温確保と防草を兼ねて、1.5mの黒マルチを中央に張っておきます。(水はけの悪い畑では畝は高めに立てて下さい。目安15~20cm程度)



定植

畝の中央に株間70cm間隔で定植します。霜の心配がある場合はキャップやトンネルなどで防ぎましょう。マクワ・メロンは多湿を嫌います。トンネル栽培をオススメします。また、**苗の深植えは厳禁!** 鉢土の肩が少し出る程度に浅く植え付けます。

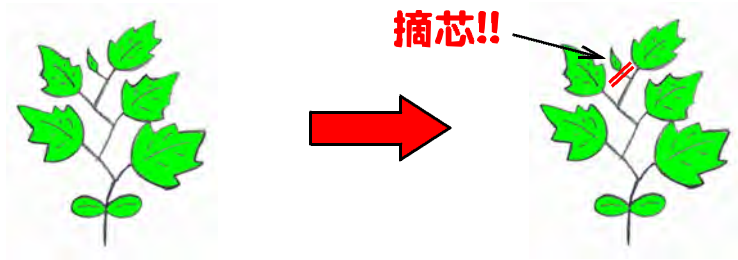


キャップは日焼けのしにくい
グラシンキャップ(紙製)がオススメ!!



摘芯

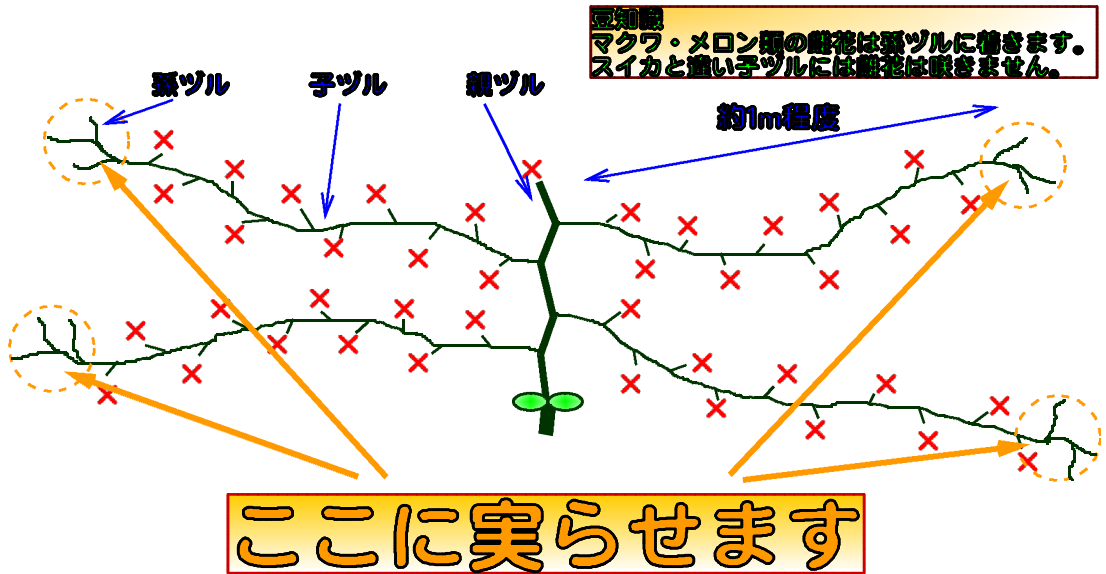
親ツルの本葉が4～5枚になった頃にツル先を摘芯します。



ツルの整理

摘芯後、伸びてきた子ツルで揃ったツルを4本残り残りは除去します。そして子ツルが約1m程度(日数にして約40日程度)生育するまで全てのワキ芽は早めに除去します。

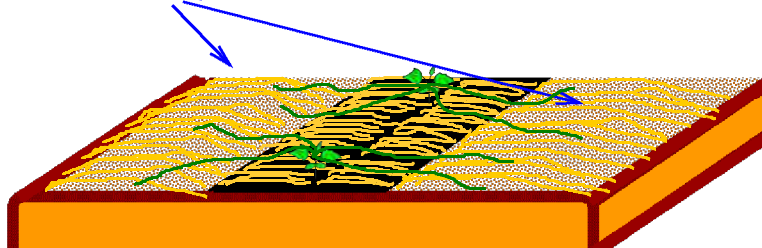
注 この時、決して雄花は取らないように！雄花多いと良く実が着きます。



敷きワラ

定植後40日目頃にワキ芽の除去が終わったらマルチの上も含めて全面に敷きワラをします。この時、子ツルが重ならないように整理します。

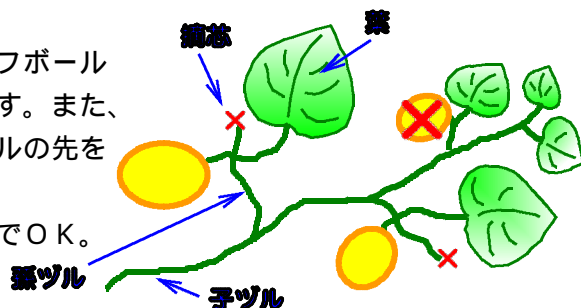
土の部分にも
しきワラをする



着果

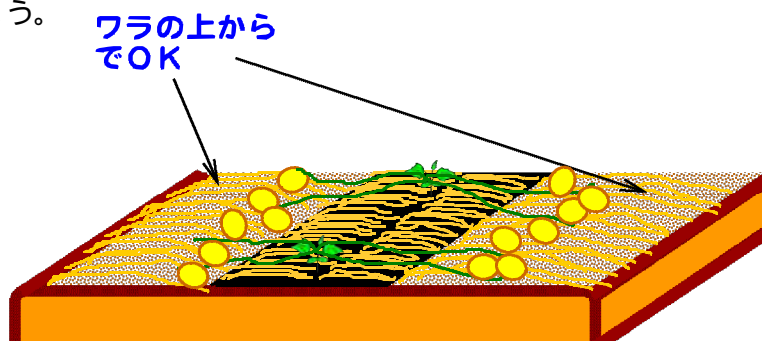
敷きワラが終われば着果させます。ゴルフボール大になった頃、1子ヅル2果に間引きます。また、その時に、孫ヅルの葉を一枚残して孫ヅルの先を摘芯します。

ヅルの管理は基本ここまで。以降は放任でOK。



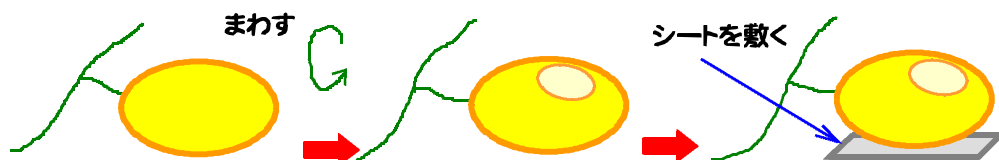
追肥

着果確認後、追肥を施します。目安は1㎡あたり化成肥料20～30g程度。追肥には化成肥料が良く、肥効の長い有機肥料を施すと裂果する場合があります。有機肥料は元肥に使いましょう。



シート敷き・玉直し

果実がこぶし大になった頃メロンシートを敷き、同時に玉直しを行い今まで地面と接していた部分にも光を当てます。(メロンシートが無ければ、スーパーで胡瓜などのパックに使用されている発泡スチロールの皿を裏返しにして使用しても良い。)



収穫

開花後おおよそ40～45日が収穫の目安です。(品種・天候により多少前後します。)

Congratulations!!



さあ、次はどのマクワ・メロンにトライする？